

第8回 これからの学校づくり検討委員会 議事録概要

日時	令和4年8月4日(木) 18:30~19:50
場所	室蘭市役所 2階3号会議室
出席	別紙出席者名簿のとおり 市教委：教育長、教育部長、教育部次長、指導参事、椎名指導主事、棟方指導主事、山口学校教育課長、松尾学務係長、山本教職員係長、船橋課長補佐、林主任、菊地主事、松浦主事
内容	<p>配布資料：委員会次第 これからの学校づくり検討委員会 これまでの経緯 第2～7回 これからの学校づくり検討委員会 議事録概要(案) これからの学校づくり検討委員会 報告書(案) 差し替え これからの学校づくり検討委員会 報告書(案)【事前配布】 これからの学校づくり検討委員会 記録集(案)【事前配布】</p> <p>次第 <input type="radio"/> 市教委からの説明 1) これからの学校づくり検討委員会 これまでの経緯の説明 2) これからの学校づくり検討委員会 報告書(案)の説明 <input type="radio"/> 意見交換 <input type="radio"/> 教育長挨拶</p> <p><質疑応答> 司会：教育長 司会：それでは、先ほど事務局より説明がありました報告書(案)について、意見交換が出来ればという風に思います。先ほど説明がありました事につきまして、わからなかったことや、今一度意見として考えて欲しいという事がございましたら、忌憚なく出して頂けたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p><input type="radio"/> 内容的な事というよりは、例えばこの報告書の中にある「小学校と中学校がより強く連携した教育、括弧して一体となった教育」、随分「連携」という言葉が出てきたその後に、一体となった教育というのは異議として出しているのか、同じ事なんだよという事なのか、それがわからないんですけども、これからもし作っていく場合には、どちらかに統一した形で出ると思いますよね。 まあ一般的には全国的に、「小中一貫教育」、内容的には「9年間の一体型教育」、そういう用語でやっておりますけれども、この方向性等のところには、「連携した教育(一体となった教育)」と、次の行のところでも「連携した教育(一体となった教育)」、という風に説明がひとつひとつ出ているんですけども、今後もこういう形でこの文書をまとめていくのか、それをちょっとお聞きしたいなと思います。</p> <p>司会：事務局よろしくお願いいたします。</p> <p>市教委：はい。ただ今、〇〇委員からご指摘を受けました「連携した教育」、「小中連携教育」よりも一歩進んだ形での連携を「一体教育」という表現に室蘭市は使っていきたいと考えてございます。それが例えば学校が、義務教育学校のように同じ施設でなくても、違う別々の所にあってもその中学校区で、より連携を強く一体となった教育、室蘭市は9年間をそれぞれの中学校区で一体となったという形で、ちょっと「小中一体教育」というのはあんまり使われている言葉ではないのですが、「小中一貫教育」というのが一般的な言葉ではあるのですが、室蘭市としては「一体教育」という形でより強く結びついたというのをちょっと強調していきたい</p>

いなと考えております。

- その辺がきちんとそれこそまさに「一貫」で一貫してね、我々もああそうだな、という感じでいけば非常に良いと思いますので、ぜひそういう形でやって頂きたいと思います。

司会：他に、ございませんか。〇〇委員よろしいですか。

- これまで私は欠席した日もあったんですけども、内容がすごく良くまとめて頂けているなと思っております。今回この報告書の中で、私は我々がこれまで議論してきた中で、4番「課題の解消に向けたこれからの学校教育の方向性」で（1）のアとイ、この2つを最重要視して今回まとめたという風に認識しております。

ですので会議に参加した者としては、それは強く理解しているところではございますが、9番の「まとめ」の部分において、この（4）のア・イについて、例えば改めて言及するなどして今回の学校づくり検討委員会は、その2点について中心的に話し合いを行い、意見を一致させたところです。という様な記述があるとより他者に伝わりやすいのかな、と思って見させて頂きました。

後、凄く小さいところで恐縮なんですけど、4ページの1行目1番後ろ、「学校づくりの方向性」のままで、「学校教育の方向性」に統一した方が良いのかなと思ったところです。以上です。

司会：はい。ありがとうございます。その点を踏まえて、また報告書（案）を修正させて頂くことになると思います。

市教委：はい。貴重なご意見ありがとうございます。〇〇委員のおっしゃるように、「課題解消に向けたこれからの学校教育の方向性」この後に、これは本当に核だと考えてございます。考えている割に、核っぽく私の方で書かなかったので、ちょっとご指摘頂いたのですけれども、「まとめ」に間違いなくこれは入るべきだと今改めて思いましたので、この後委員について改めてまとめの方に記載させて頂きたいと思います。ありがとうございます。

司会：他、いかがでしょうか。〇〇委員、実際にお子様を通う学校の話になるのですけれども、何かご意見とか感想とかあれば聞かせて頂いても良いですか。

- 思ったのがこの8番の（2）「現在、特認校は喜門岱小学校のみであり、中学校は～」というところなんですけれども、この報告するにあたってまず、不登校児がやっぱり私的には気にもなるところなんです。不登校になるにあたり、ただしじめだけが原因ではないと思うんですけれども、もしいじめだったら、だいたい多いのかなとは思ってますよね。そのいじめの原因を保護者に伝えられないという子も中にはいるので、こういう先の逃げ場というんですかね。これを設けてあげることによって、また子どもたちの記憶が変わるのかなと、思う部分があるので、こういう風にやっていくのであればまず子どもたちの逃げ場、逃げ場という表現が良いのかちょっとわからないですが、逃げ場を最優先にしてあげて欲しいなという思いがあります。

司会：はい。ありがとうございます。この点について、事務局何かございますか。

市教委：貴重なご意見ありがとうございます。この報告書としてまとめる形の中で、子どもたちの逃げ場という言葉がその他の考え方に入れ込むかどうか。ちょっと今すぐにこの報告書（案）の中にその表現が上手く入り込むかどうか、ちょっと思いつかなかったのですが、これがその他の考え方の中で特認校ですとか、不登校となった事も、いじめ以外の不登校も当然ある中で、校区に囚われないといったところで、この辺りに子どもたちの居場所ですとか、子どもたちが少しでも居心地の良い場所になるような学校、そこに逃げ場という表現を使うかどうかわからないのですけれども、ちょっとこの辺りに今頂いたようなご意見をちょっと入れ込んで、また作って

みたいだと思います。よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

司会：過去に「再スタート」という言葉を使っていますので、そういう言葉を使わせて頂く可能性もあるかなと思いますけれども。〇〇委員その辺りでよろしいですか。

〇はい。

司会：〇〇委員何か、感想かご意見ありませんか。

〇全体の感想としては、特に問題がないというか、気になるところはないかなと思いました。まあもうちょっと、アクションプラン的にこうやるとかいう事も書いても良いのかなとも思いましたが、やっぱりそれにしては揉む時間も短いというのもあって。

個人的に気になるのはやっぱり、これから地区ごとに差が出ていく事はあるんだろうなという気はして、格好良くいうと差ではなく、多様性みたいな感じで受け入れていくという事をもう少し積極的に目指すみたいなのところを、入れて置くことは大事かなと思いました。そのの所は、7の2段落目の話ですとか、9の3段落目の「その他の地域についても」というところで、これからもそういった事を考えながら、文章的には必ずしも義務教育だけでは無くてということも感じられたので、そういったものを取り分け強く指摘するようなことでもなく、まあちゃんとそこら辺は考えられているかなと。只積極的な表現では無いなといのはちょっと気になりますけれども、決してちょっと違うんじゃないという感じではないです。以上です。

司会：ありがとうございます。ご意見として頂戴するという事でよろしいでしょうか。

〇はい。それでよろしいです。

司会：コミュニティ・スクールを土台にしてということでも考えておりますので、何かその辺り〇〇委員、〇〇委員の方で。

〇ここの中で、ここに来ている委員の中でコミュニティ・スクールのパンフレットを数年前に、3年前かな配られたんですけども、持っている方がいるかいないかはわからないですけども、今この中でコミュニティ・スクールって凄く出てきます。大事だって。大事だって言ってるんだけど、今の教育と同じくらい教育の解釈と同じくらい、地域の会合でもあるから、その辺の所を地域にわかりやすく、例えば今主立った連合町会とかそういう方々が集まって、これからコミュニティ・スクールの在り方とか考えていくんでしょうけども。その中で、もう少しこの学校教育がこういう状況だよとそういうものを地域の方にもっともっと知ってもらわないと、いきなりコミュニティ・スクールやりますよと。じゃあ今日から何を話し合えば良いのか、地域で何をしたらいいんですか。そこに行くまでにはもの凄く時間がかかる様な気がする。なぜかと言うと、やはりこれだけ地域と学校との差が出来てしまった今の現状がありますので、その辺のところをコミュニティ・スクールがすぐ活動していかないと、いきなり教育方針からその辺が出来るのかなとちょっと疑問点があります。以上です。

司会：はい。ありがとうございます。令和4年度中に全ての中学校区に、まあ組織は置かさせて頂きますという形にしております。その中身についてどうしていくのかという協議は、令和5年度以降に本格的に進んでいくのかなという感じなのでですけども。今〇〇委員さんからご指摘ありましたように、連合町会さんの会議等でコミュニティ・スクールについて理解を深めて頂くように教育委員会として、出て行ってご説明申し上げていくという事も必要かなと。ご意見として、受け止めさせて頂くということでもよろしいでしょうか。

○はい。

司会：ありがとうございます。〇〇委員何か感想かご意見ありましたら、頂戴したいと思いますけれども。

○あまり会議に出られなくて申し訳なかったんですけども、例えば義務教育学校というのを蘭北地区とか白鳥台の方で先行的に始めますよというのが、提案だったのだと思います。合わせて蘭中、蘭西あとお隣の港北地区に置いて、これから検討しますよというニュアンスで書かれているところが、ちょっと気になるというか。じゃあ、わかっているけどどうするのかというところがですね、ちょっと曖昧なところが書かれていないのが気になったのかなという事と。

あと学校の体制という部分と、例えば特認校の喜門岱小学校、中学校でも作りましょうという提案があったんですけども。やっぱり小中一貫校、義務教育学校においてもですね、そういう学校があってもいいんじゃないかなというのと、逆に、多い学校に行きたい、競争したいなど、例えばスポーツが強いからそういう校区の学校、たくさんいる学校だとスポーツが出来るので、そういうところに私は行きたいんだと、多い学校に行きたいんだというようなニーズもひょっとしたらあるんじゃないかなと。逆もまたあるんじゃないかなと思います。

ですので、その各生徒さんが選べるような、学校に行けるような教育システムですとか、そういうのがやっぱりあるべきじゃないのかなという風に思います。だから、あくまでも学校の体制というよりも、それぞれの生徒の気持ちに寄り添った学校であるべきなのかなというのが、これからも考えていかなきゃならないのかなというのが感想です。

司会：ありがとうございます。ご意見として頂戴するという事でよろしいでしょうか。

○はい。

○これまでの開催ありがとうございました。報告書としてよく取りまとめられているなという感想を持っていますし、内容についても特段の不備とかは無いように思っています。只、室蘭市教育大綱を説明した時の教育長が何か何でもやっていくんだというその言葉だけで、この会議に出て良かったかなと思っていますんで、それを実行して頂くというステージにこれから向かっていくんだろと思えますんで、そこに期待しております。ありがとうございます。

司会：ありがとうございます。その他発言なさっていない委員で、ご意見ございませんでしょうか。〇〇委員よろしくお願いたします。

○私は白鳥台から来ておりますので、白鳥台、本室蘭中学校と白蘭小学校、義務教育学校ということで、地域に住む者として大変喜ばしく思っております。白鳥台は非常に高齢化が進んで、人口がゆっくり下がってきている。

高齢化になった方が、やはり例えば1人暮らしになって、ご主人が亡くなって1人暮らしになって車がないとか、足がないとか、或いは便利な市街地のほうにも病院にも近い、買い物も出来るという事で行ってですね、そういうものの中で、少しずつ町全体が細くなってきているわけですけども、ここで小中学校が一緒になったら義務教育学校が出来るという事ならば、白鳥台地区にとって非常に喜ばしいと言いますか、新たな先進的なそういう学校制度の中で、教育を地元の子もたちが受けられるという事で、また色んな意味で白鳥台に新しい風が吹くんじゃないかと思っております。

あと、コミュニティ・スクールの件ですけども、私も3年か4年前にコミュニティ・スクールの事が中学校区の会長ということで、参加したこともありましたが、1度だけ会議が開かれました。後はコロナの時代になりまして、今月の8月25日に学校運営協議会として再スタートしたいということで集まってくれという連絡がきてます。そういう意味で地域、連合町会と学校との連携。

特に白鳥台連合町会は非常にまとまりの良い、連携の良く出来た地域の町会が集まっておりますの

で、そういう意味では学校と地域の連合町会が一体となって学校運営に協力して行きたいという風に思っております。

司会：はい。ありがとうございました。その他ございませんか。よろしいでしょうか。それでは、今日お示しさせて頂きました報告書（案）の大筋、承認を頂けるという風に解釈をさせて頂いてよろしいでしょうか。

（異議なし）

司会：では、今日頂戴した意見を踏まえてさらに報告書（案）に改定を加えまして、そちらをまた委員の皆様へ送付をさせて頂きます。またそれを読んで頂いて、特に御異議がなければそこで承認ということにさせて頂いて、何かありましたらまた改定した物を読んで頂いた後に、ご意見を教育事務局の方に頂けたらという風に思います。そうやって報告書（案）を正式な物にしていきたいという作業の方に一手間とらさせて頂きたいと思います。事務局よろしいですね。はい、そういうことで、どうぞよろしく願いいたします。それでは、報告書（案）につきましては、もう少しで承認とさせて頂きます。どうもありがとうございました。

これまで各回に渡り、開催をさせて頂きましたこの検討委員会でございますが、皆様の大変なご協力により報告書（案）の作成まで来ることが出来ました。本検討委員会は報告書の承認により解散となります。本当にこれまでのご協力とご参加ありがとうございました。

市教委：ありがとうございました。これで全日程終了となります。最後に改めまして、伊藤教育長の方から一言お願いします。

○伊藤教育長

報告書（案）を皆様にお送りさせて頂いて、特にご意見がなければそれで承認とさせて頂いて、という所までお話しをさせて頂きました。

その後ですけれども、8月の下旬に教育委員会の定例会がございますので、そこで報告書（案）をお示しさせて頂きたいと思います。来月9月に、議会が始まりますので、議会の方にもこの報告書（案）を報告をする予定としております。

その後、白鳥台地区の義務教育学校の開設に向けて、まずはスピード感を持って進めて参りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

市教委：はい。ありがとうございました。改めまして、昨年の11月から8回に渡りまして、お忙しい中ご出席頂きまして本当にありがとうございました。改めてありがとうございます。本日を持ちまして、これからの学校づくり検討委員会、解散となります。本日はご出席頂きまして本当にありがとうございました。

○伊藤教育長

今までどうもありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

<検討委員会終了>